

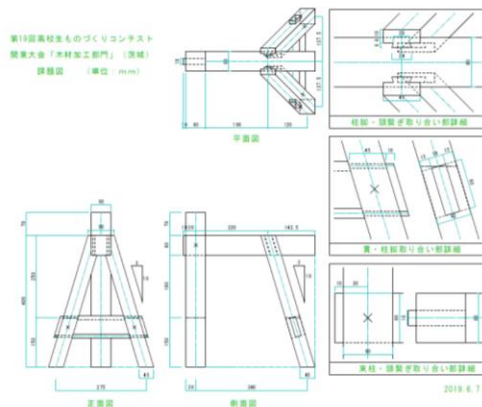
☆令和元年度1学期 建築科の取り組み

☆ものづくりコンテスト「木材加工」関東大会出場（東京都代表）☆

大工希望で、1年生の時から、「かな」や「のみ」などの手道具の使い方や仕立て方を学校に来られるプロの先生たちから学んできました。課題が難しく、まだまだ時間がかかっていますが、関東大会に向けて、夏休み中登校し、練習しています。



プロの先生が、来られたときは、友達も一緒に学びます。先生の繊細で、丁寧な仕事を見て、自分を振り返ります。

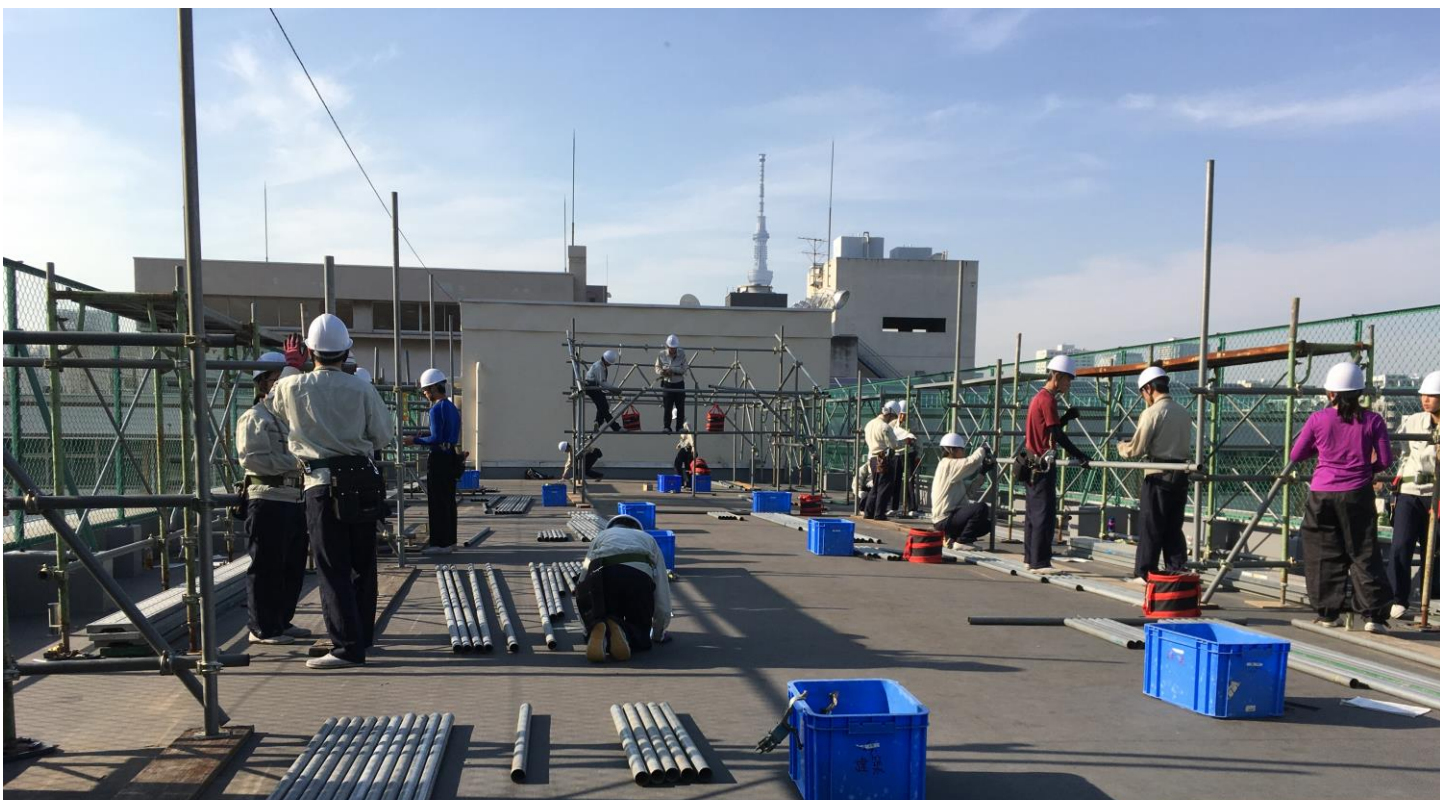


先生と原寸図をみて、
段取りを確認します

課題図

3時間以内で作品を
完成させるため、練
習を重ねます

技能検定「とび2級・3級」の実技試験に向けて屋上で練習



屋上で暑い中、受検希望者が多いため交代で、7月の中旬の試験に向けて試験時間内に完成できるように繰り返し練習をします。

3年生の中には、技能検定2級にチャレンジする生徒もいます。(写真上奥) 皆、放課後の部活動や補習など忙しい中、時間をやり繰りして練習を重ねます。

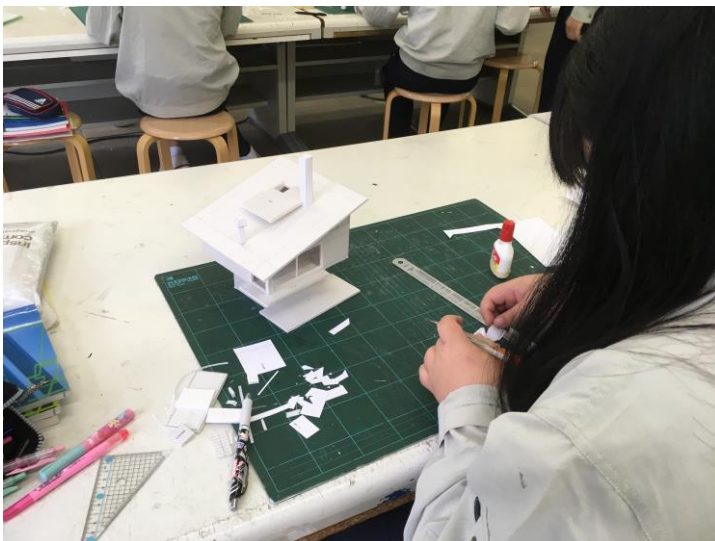


プロのとび職の先生が、来校されたときは、上手いかないところを質問できるチャンス。先生の手際の良さに毎回驚きます。

1年生工業技術基礎の授業

工業技術基礎の授業では、1クラスを3班に分けて、木工・測量・造形をローテーションで学びます。

(1)造形 建築物の透視図(パース)を作成する方法やスチレンボードを使用した建築模型のつくり方について学びます。吉村順三先生設計「軽井沢の山荘」の模型を一人でつくります。これは、2年生の実習でつくる実物の1/2の大きさの軸組模型と製図につながる課題です。



↑完成模型

(2)木工 腰掛けあり継ぎを製作します。プロの大工の先生から、多くのことを学びます。



↑腰掛けあり継ぎ組み合わせ前

(3)測量 測量器械を使って、正確に測ることを学びます。

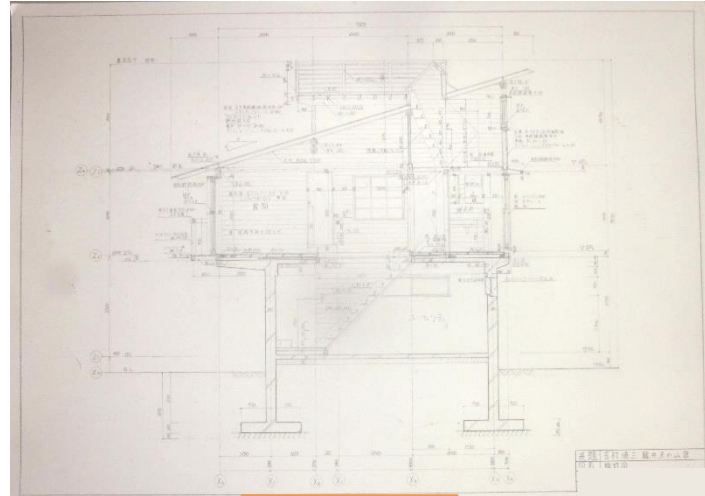


↑腰掛けあり継ぎ組み合わせ後

建築科2年生の1学期の授業

建築科2年生の専門の授業では、日本の建築家として非常に有名な吉村順三先生設計「軽井沢の山荘」を教材として学びます。

製図(断面詳細図)



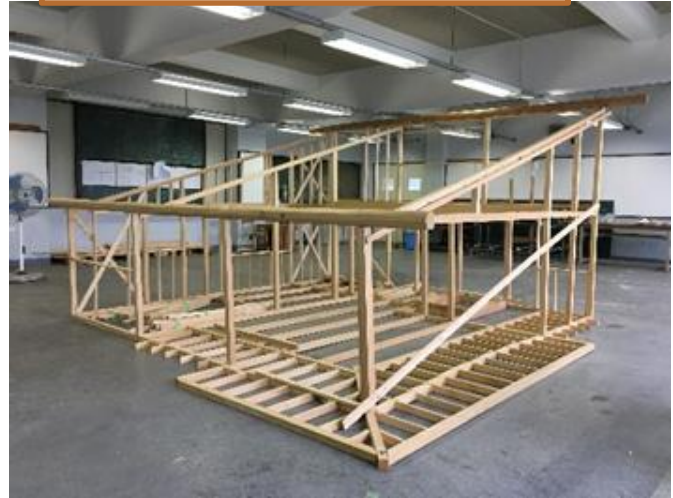
完成作品

製図と実際につくることがつながることで、空間理解を深めます。

実習(透視図)



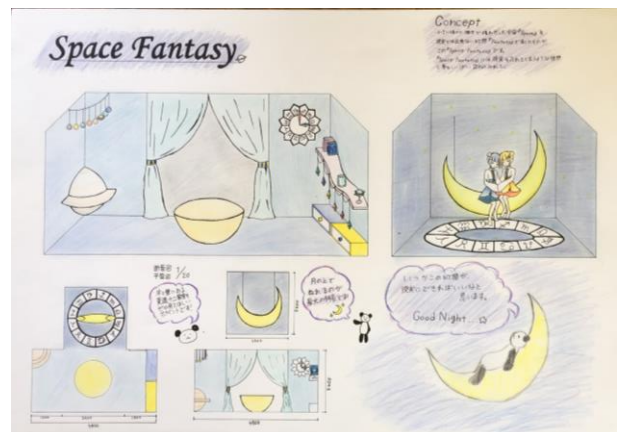
実習(1/2軸組模型)



墨田工業高校の生徒へと、プロの透視図(パース)の先生より寄贈された作品。先生の著書は多数あり、本校の授業でも活用しています。

選択 建築計画

外部のインテリアコンペに挑戦しています。自分で考えたアイデアを表現するのに苦戦しています



1年生の時から進路について考え、行動する

☆卒業後の進路について考えるため
匠の技の祭典に行き、見学や体験を
しました。



本校に、指導に来られている建具の先生がつくら
れた組子の美しい和室の説明をききました。



かな削り体験



組子(麻の葉)体験をしました。

夏休み中に、意欲のある生徒は、企業にて就業体験を
します。

(写真は、一般塗装の体験 協力:佐藤興業株式会社)

